

令和2年度 第1回 新潟市北区郷土博物館協議会



おとなの北区探検ツアー
(岡方コース)



市民ガイド研修

常設展示併催 - 所蔵美術作品特別展示

福島潟が育んだ水絵の文化



五上風道雄 / 高野常与志 / 月岡徳恵

2020年
7月23日(木・祝) ▶ 8月23日(日)

開館時間：9時～17時
休館日：6/10(9連休)、12月31日・8/31日
入館料：500円
注：館内撮影は禁止です。

新潟市北区郷土博物館 TEL 0251-822-0111 FAX 0251-822-0101
E-mail: kankou@nibm.jp

所蔵美術作品展 福島潟が育んだ水絵の文化ポスター

令和2年10月27日
新潟市北区郷土博物館

目 次

○令和2年度 前期事業報告（令和2年4月1日～令和2年10月21日）	
1 展示事業（常設展示・企画展及び関連事業）	2
2 教育普及事業（講演会・講座・教室・講師派遣・主なレファレンス等）	5
3 ふるさと学習への対応	8
4 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動と研修	8
5 博物館実習、体験学習等の受け入れ	8
6 資料（指定文化財を含む）の保管・整理	8
7 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録	9
8 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護	9
9 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議100周年事業」	10
○令和2年度入館状況、月別入館者数調べ(本館のみ)	11
○令和2年度 後期事業計画	13

注：この協議会資料で「入館者数」とあるのは、その期間中の入館者数です。特定の企画展関連事業などに参加した人数は「参加者数」として記載しました。

新潟市北区郷土博物館 令和2年度 前期事業報告

(令和2年4月1日～令和2年10月21日)

1 展示事業

(1) 常設展示

「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展 - 「住まい」の道具イロイロ

常設展示の一つのテーマを掘り下げて展示する企画展。小学校3年生社会科「昔の道具と暮らし」の授業内容とも連携させることができる企画として平成28(2016)年度より開催。シリーズ4回目のテーマは、<「住まい」の道具イロイロ>。囲炉裏の回りや水回りなど、約50～70年前まで使われた「住まい」に関わる道具や写真などから、昔の生活、人々の知恵・工夫を紹介した。

- ・会期 R2. 1/4(土)～5/17(日)
※前年度からの引き続きの企画展。
※4/21(火)～5/10(日)は新型コロナウイルス感染防止のため、臨時休館
- ・入館者数 2,049人
(1/4～3/31(前年度)は、1,715人、4/1～5/17は334人)
- ・会場 ホール、集会室
- ・展示点数 84点 (民俗資料56点(参考資料2点含む)、
写真22点、イラスト6点)
- ・展示コーナー 火に囲まれた暮らしの道具イロイロ
水回りの道具イロイロ
住まいをきれいにする道具イロイロ
住まいには、ほかにもイロイロ
- ・ポスター/チラシ A2・カラー/A4・片面カラー
- ・リーフレット A4・4頁・モノクロ



ポスター・チラシ

- 手織り体験と葛塚縞手織り機の実演(講師 葛塚縞手織りの会)
(3・4・5月に予定していた5回分は中止しました)

- 昔のおもちゃであそぼう(会期中随時、3月から中止)
- ふろしきで包んでみよう(会期中随時、5月から中止)
- 天びん棒を担いでみよう(会期中随時、5月から中止)

○展示解説会

実施日 4/11(土)
参加者数 3人
講師 曾部珠世



展示解説会

② 一写真と映像、そして本物で見る 北区の神楽と獅子舞のここに注目展

北区には多くの郷土芸能が受け継がれ、神楽・獅子舞は18団体が活動中である。平成29～令和元年度の区づくり事業などで撮影した写真・映像、資料を通して、北区の郷土芸能を紹介した。コロナ禍により、企画した芸能発表会は実施しなかった。

- ・会期 6/6(土)～7/12(日)
- ・入館者数 650人
- ・会場 ホール
- ・展示点数 55点(実物11点、写真36点、説明パネル8点)
- ・展示コーナー

疫病退散の願いから始まった神楽・獅子舞

同じ彫刻師による兄弟お頭の130年振りの対面

北区の神楽・獅子舞28 全部紹介

濁川大和神楽

内沼獅子舞の歴史

内島見の獅子舞のお頭

北区の神楽と獅子舞の違い

他門の神楽の初代お頭は今どこに？

番外編：北区の神楽のお頭に村上産？

- ・ポスター A2・カラー印字
- ・チラシ A4・片面白黒印刷、一部カラーコピー



ポスター・チラシ



観覧風景

③ 所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化

北区の豊栄地域に根付いている水絵(水彩、日本画)の文化を、在郷作家3人の自然をみつめる眼を通して考える機会とした。

- ・会期 7/23(木・祝)～8/23(日)
- ・入館者数 609人
- ・会場 ホール
- ・展示点数 10点(内訳 水彩画7点、日本画3点)
- ・出品作家 五十嵐道雄、高野常与志、月岡徳恵
- ・ポスター A2・カラー
- ・リーフレット A4・4頁・カラー



展示会場風景

④ 第23回松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなみ、書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催した。学校の臨時休校により、作品の応募締切と開催時期を例年よりも遅らせて実施し、新型コロナウイルス感染防止のため、表彰式は開催しなかった。応募点数は1,980点で、入選・入賞作品238点を展示した。

また、今年度も中学1年生の課題「河童の沼」にちなんで、文学作品『河童のユウタの冒険』関連の模型とパネルを展示した。

- ・主催 新潟市北区
- ・会期 9/12(土)～10/11(日)
- ・入館者数 914人
- ・会場 ホール、集会室
- ・対象 新潟市内の小学校3年生～中学生
- ・審査員(五十音順) 伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館 学芸員)
岡村 鉄琴氏(新潟大学教育学部 教授)
小黒 五稜氏(書家・新潟県書道協会顧問)
和泉 哲章(新潟市立白南中学校 校長)
- ・応募校等 北区内 … 小学校9校
中学校6校
市内他区… 小学校1校
中学校5校
書道教室… 9校
個人応募… 6人
- ・学年別応募数内訳(点)

※()内は教室・個人

小3	313 (39)
小4	373 (63)
小5	321 (71)
小6	347 (44)
中1	437 (37)
中2	105 (32)
中3	84 (19)
合計	1,980 (305)

- ・入賞者数 238人
- 松蔭賞 7人 (各学年1人)
- 優秀賞 21人 (各学年3人)
- 特選 70人 (各学年10人)
- 佳作 140人 (各学年20人)



松蔭賞作品



観覧風景



『河童のユウタの冒険』関連展示



⑤ 新潟市北区こども科学展

例年9～10月に開催しているこども科学展は、松蔭賞書道展の時期が変更になったこと、及び学校の夏休みが短縮されたことにより、夏休みの自由研究の発表の場という要素の強い本展において、作品の募集が難しいなどの理由で、今年度は中止した。

2 教育普及事業（講演会・講座・教室・講師派遣・主なレファレンス等）

(1) 夏休み はくぶつかん体験コーナー

今年度は、「夏休み公共施設利用促進事業」によるバス運行など連携している事業とともに中止した。

(2) 「にいがたデジコングランプリ 2020」における審査員の受嘱

- ・主催 特定非営利活動法人 にいがたデジタルコンテンツ推進協議会
- ・受嘱期間 7月～11月（審査は9月末まで）
- ・審査受嘱職員 神田直子

(3) NHK「金よう夜きらっと新潟 いがた妖怪ものがたり」への取材協力

コロナ禍に疫病退散の願いを込めて放送されたNHK新潟放送局の番組の制作にあたり、福島潟の妖怪（予言獣）についての照会があり、撮影・インタビューに協力した。

- ・取材日 7/21(火)
- ・放送日 8/7(金) 午後7時30分～
- ・対応 曾部珠世



NHKの取材・撮影（福島潟）

(4) 講座「写真で見る北区の水害」（他館等の事業での講演）

- ・主催 新潟市豊栄地区公民館
- ・事業名 ご近所だんぎ
- ・期日 9/10(木)
- ・講師 曾部珠世（講師派遣）
- ・参加者数 26人
- ・会場 新潟市豊栄地区公民館

(5) 講座「現代美術への招待（2）」（他館等の事業での講演）

- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・期日 9/12(土)
- ・講師 神田直子（講師派遣）
- ・参加者 40人
- ・会場 葛塚コミュニティセンター研修室

(6) 歩いて！バスで！おとなの北区探検ツアー

新型コロナウイルスの影響で、各種事業の中止や変更など、開催できる事業が少なくなったことから、屋外で北区の歴史や地形を学び、北区を再発見する全3回の講座を実施した（バス使用2コース、まち歩き1コース）。参加申込み多数のため、各講座を2回ずつ実施。

本事業は豊栄地区公民館と共催で、当館は、各コースの設定、配布資料（見学地の内容紹介）等の作成、当日の解説、北宝隊との調整を担当した。

- ・主催 新潟市豊栄地区公民館、当館
- ・内容と実施日と参加者数
 - 岡方コース「阿賀野川の河跡を歩く」新江用水、十二潟、旧長戸呂潟、高森の丘ほか
実施日 9/16(水) 参加者数 12人
実施日 10/14(水) 参加者数 11人
 - 木崎コース「砂丘と放水路を巡る」福島潟放水路の棕堰、北巡駐蹕碑、小作争議記念碑ほか
実施日 9/23(水) 参加者数 12人
実施日 10/7(水) 参加者数 12人
 - 葛塚コース「川に囲まれていたまちの歴史を歩く」開市神社、本町、新井郷川の改修跡ほか
実施日 9/30(水) 参加者数 13人
実施日 10/21(水) 参加者数 11人

- ・講 師 曾部珠世（岡方・木崎コース）、北宝隊2人（葛塚コース）
- ・振返り司会 芹野若子（豊栄地区公民館）



木崎コース（放水路管理所施設見学）



葛塚コース（北宝隊のガイドでまち歩き）

（7）市報にいがた「中原八一市長が行く 八区魅力発見 北区編」への取材協力

市内各区を紹介する紙面の作成のため、北区の隠れた魅力リストの作成と広報課・北区地域総務課・取材対象者（小島勝治氏）との調整等を行った。また、取材当日は、小島氏による「松浜での西郷隆盛の滞在について」の説明の補助を行った。

- ・取材日 9/25（金）
- ・掲載紙 市報にいがた10/18号



「こらぼや」での市長への説明

（8）新潟高校放送部への取材協力

新潟高校放送部2年生が、新潟県校内放送コンクールへ出品する番組（福島潟についての5分間のドキュメンタリー）を制作するにあたり、福島潟の干拓の歴史（国営干拓について）、昭和41・42年の水害、昔の潟端の暮らし（農業・漁業）についての照会があり、撮影・インタビューに協力した。

- ・取材日 10/10（土）



撮影とインタビュー

（9）レファレンス（通年）

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

（10）刊行物の販売（通年）

当館の有償刊行物のリストを、表紙イメージ入りでホームページに掲載

3 ふるさと学習への対応

(1) 学校教育の一環としての利用

前期は利用なし

(2) 一般の地域学習の場としての利用

前期は利用なし

4 市民ガイド（常設展示ボランティアガイド）の活動と研修

(1) 活動実績

個人や団体の見学者に対し、常設展示を中心としたガイドを行うもの。前期は、一般の団体と学校の見学はなかった。また、大型連休中等の待機は実施できなかった。

- ・個人見学対応 1回（見学者2名、市民ガイド1人）

(2) 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る目的で行う。

①当館企画展関連研修と情報交換

「一写真と映像、そして本物で見るー北区の神楽と獅子舞のここに注目展」での研修（担当 木村）と、令和元年度のガイド実績報告、ガイドを行う上での課題などの意見交換（担当 曾部、齋藤）を行った。

- ・実施日 7/11（土）
- ・研修場所 当館
- ・参加者数 市民ガイド6人
- ・担当 木村隆行、曾部珠世、齋藤加奈



企画展の説明時は一般の入館者も参加した

5 博物館実習、体験学習等の受け入れ

(1) 博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

- ・新潟大学4年生 3人
- ・8/28（金）～9/11（金）のうち 7日間

(2) 体験学習等の受け入れ（中学生・高校生の職場体験）

前期は受け入れなし

6 資料（指定文化財を含む）の保管・整理

(1) くん蒸処理の記録

前期は未実施

(2) 収蔵資料等の整理（外部依頼）作業の記録

・歴史資料の再整理作業（杉本耕一氏へ依頼）

- ・資料名 市指定文化財「内沼・佐藤家文書」、「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
- ・作業日数 延べ10日（4月～9月）

7 所蔵資料の貸出と写真等の使用の許可の記録

（個人への貸出等は除く）

許可日	資料名	目的	貸出・許可先
5/29	民俗資料（カブセアミ、ナマズカゴ、ヤチゲタ等）16点（市指定文化財14点含む）、 「内沼・佐藤家文書（市指定文化財）」のうち2点	企画展「潟のくらし」展での展示、印刷物への掲載	新潟市歴史博物館（会期7/11～8/23）
5/29・7/5	「スダテ漁の風景」、「ハイナワ」、「タンカラボーイ」、「ホンリョウブネ」、「スキアミ」等の写真24点	企画展「潟のくらし」展での展示パネル、印刷物等への掲載	新潟市歴史博物館
6/3	渡辺雪子「景No.3」の写真	主催事業の広報印刷物への掲載	新潟市豊栄地区公民館
7/16	馬見坂遺跡出土の考古資料（畠山佑二コレクション）13点	特別展「八幡林遺跡と湍足柵」での展示	長岡市立科学博物館（会期10/3～12/6）
7/16	葛塚縞の縞見本帳3点	企画展「シマシマが語る46億年の歴史」での展示、図録への掲載	福井県年縞博物館（会期9/19～11/23）
8/20	昭和41・42年の水害の写真パネル3点、映像DVD	「金よう夜きらっと新潟」（9/11放送）での使用	NHK新潟放送局
9/30	オオヒシクイの剥製	「オオヒシクイのはく製がやってきた！」での展示	水の駅「ビュー福島潟」（会期10/10～3/28）
9/30	豊栄市史 民俗編のイラスト「仕事着（女）」	伊藤充著『新潟県民性の民俗史』に掲載	新潟日報事業社

8 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

① 市指定文化財の歴史資料の再整理

「内沼・佐藤家文書」、「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書の再整理（再掲）

② その他文化財関連の調査

前期は行わなかった。

(2) 公開活用

① 指定文化財資料の他館への貸出（一部重複）

- ・「福島潟民俗資料」14点、「内沼・佐藤家文書」2点（新潟市歴史博物館）

② 市指定無形民俗文化財等の郷土芸能の公開

- ・企画展に伴う芸能公演は新型コロナウイルスのため中止した。

③ 文化財等説明板の設置・修繕

- ・板面修繕1件（宿場町 木崎）
- ・塗装 1件（宿場町 木崎）



修繕した説明板「宿場町 木崎」

(3) 指定天然記念物の保護育成

県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」の保護育成に関係する業務について、行わなかった。

9 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議100周年事業」

（令和2～4年度の3カ年事業の初年度）

令和4（2022）年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料の所在確認調査や展示予定の歴史資料（木製看板）の修復のための準備を進める。前期は、劣化が進んでいる無産農民学校西入口看板の修復のための調査を、東北芸術工科大学へ委託した。

特色ある区づくり事業計画（木崎村小作争議100周年事業）

実施年度	令和2年度（1年目）		令和3年度（2年目）		令和4年度（3年目）	
計画内容	前期	後期				
		調査出張	調査出張	企画展パンフレット作成 企画展チラシポスター作成	企画展、講演会の開催	
		資料調査・整理			記録集作成	
		結果打合せ出張	展示用パネル・ 展示台作成			
	指定文化財修復調査委託（東北芸術工科大学）		指定文化財修復委託			
			修復現地確認	移送打合せ		
			修復後打合			
<参考> 区づくり事業の 終了後の予定	3カ年の特色ある事業の成果である修復した指定文化財を、北区郷土博物館の常設展示に利用できるし、他の博物館などにも活用してもらえる。企画展に合わせて作成するパンフレットに調査結果、当館所蔵の資料説明などを掲載することで、地域のみならず全国に情報発信できる。また、今後の研究に活用してもらうことができる。企画展終了後、その企画展のまとめ、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作成することで整理した記録が残り、調査や研究に繋げることができる。					

令和2年度入館状況

(10月21日現在)

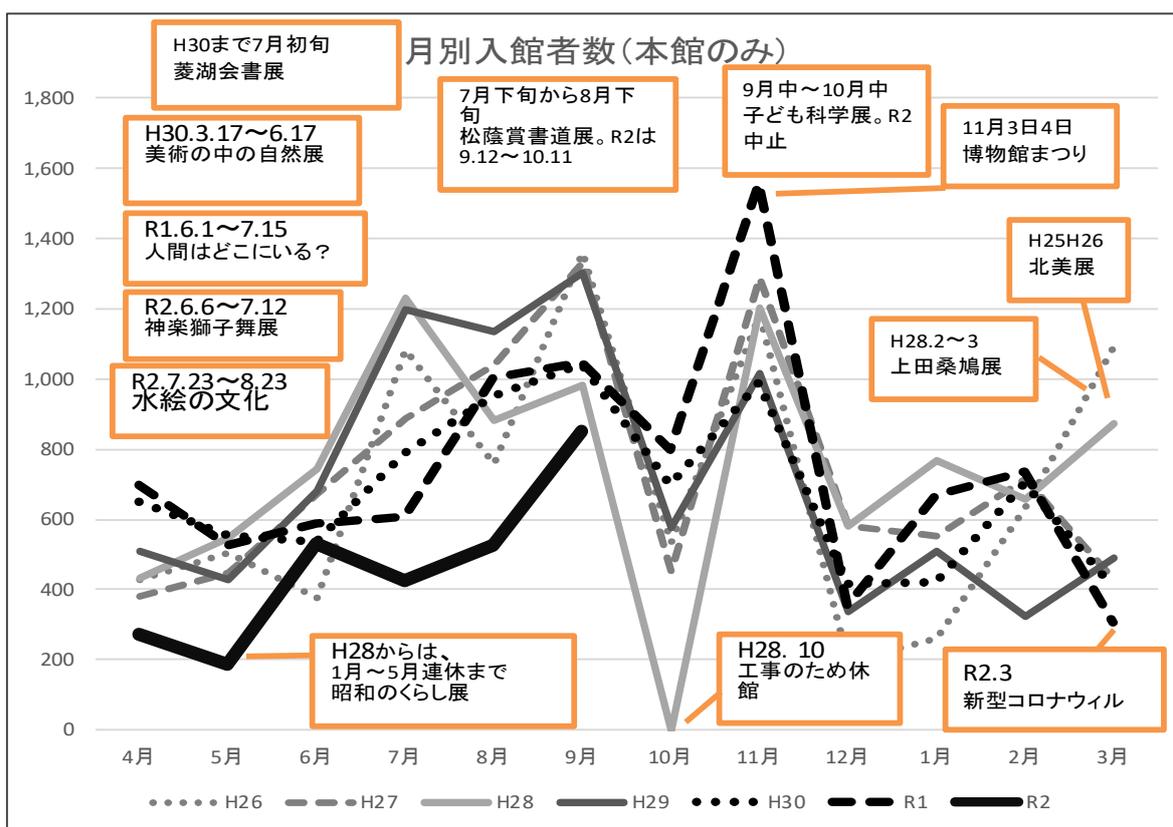
月別	北区郷土博物館 入館者数(人)	横井の丘ふるさと 資料館 入館者 数(人)	主な行事
4月	272	—	昭和のくらし展-「住まい」の道具イロイロ- 1/4~5/17
5月	185	—	昭和のくらし展-「住まい」の道具イロイロ- 1/4~5/17 (計2,049人 ※4/1~5/17は334人)
6月	532	—	一写真と映像、そして本物で見るー 北区の神楽と獅子舞のここに注目展 6/6~7/12
7月	427	—	一写真と映像、そして本物で見るー 北区の神楽と獅子舞のここに注目展 6/6~7/12 (650人) 所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化 7/23~8/23
8月	526	—	所蔵美術作品特別展示 福島潟が育んだ水絵の文化 7/23~8/23 (609人)
9月	850	—	第23回 松蔭賞書道展 9/12~10/11
10月	325	—	第23回 松蔭賞書道展 9/12~10/11 (914人)
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			
合計	3,117	0	

- ・「入館者数」は、館内に入場した人数です。展覧会観覧者数や事業参加者数の合計とは異なります。
- ・横井の丘ふるさと資料館は現在休館中です。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、4/21(火)~5/10(日)まで臨時休館しました。

月別入館者数調べ(本館のみ)

(人)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	四半期 R2/R1
4月	464	426	379	434	510	649	698	272	54.5%
5月	610	504	446	547	427	554	527	185	
6月	587	376	674	743	683	535	589	532	
7月	1,117	1,081	888	1,231	1,198	790	606	427	67.9%
8月	850	757	1,039	882	1,135	952	1,003	526	
9月	1,220	1,360	1,331	982	1,302	1,040	1,048	850	
10月	910	532	452	0	575	698	798		0.0%
11月	924	1,181	1,289	1,201	1,015	990	1,557		
12月	428	193	580	582	337	418	354		
1月	370	260	551	769	510	422	671		0.0%
2月	647	635	714	656	323	701	738		
3月	925	1,094	426	875	492	408	306		
合計	9,052	8,399	8,769	8,902	8,507	8,157	8,895		



令和元年のパターン	令和2年度(コロナ発生後)
1月4日~5月19日 昭和のくらし展(2,692人)	1月4日~5月17日 昭和のくらし展(2,049人)
6月1日~7月15日 美術展:人間はどこにいる?(840人)	6月6日~7月12日 神楽獅子舞ここに注目展(650人)
7月27日~8月18日 夏休み はくぶつかん体験コーナー(942人)	7月23日~8月23日 美術展:湯が育んだ水絵の文化(605人)
7月27日~8月25日 松蔭賞書道展(1,133人)	9月12日~10月11日 松蔭賞書道展(914人)
9月21日~10月14日 子ども科学展(1,319人)	11月3日 博物館まつり(0人)
11月3日、4日 博物館まつり(1,020人)	11月14日~12月13日 美術展:型とシンボル展
11月16日~12月15日 美術展:アートと道具(642人)	1月5日~5月16日 昭和のくらし展
1月4日~5月17日 昭和のくらし展	

令和2年度 後期事業計画

(令和2年10月22日～令和3年3月31日)

1 展示事業

(1) 常設展示 「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 企画展及び関連事業

① 美術にみる 型とシンボル展 ―図像の伝統と現代―

新潟出身作家の高橋清、長沢明、北條佐江子、ワタナベメイの作品にみる図像表現を、虎図、達磨図、ひな人形などの伝統的な作品と対照しつつ紹介する。

・会期 11/14(土)～12/13(日)

○作品鑑賞会

実施日 11/22(日)、12/13(日) 講師 神田直子

11/29(日)、12/6(日) 講師 齋藤加奈

② 常設展拡大企画 昭和の暮らし展5

約半世紀前まで使われていた道具等から、昔の暮らしや人々の知恵と工夫を紹介。体験コーナー設置予定。

・会期 令和3(2021).1/5(火)～5/16(日)

2 教育普及事業(講演会・講座・教室・講師派遣・レファレンス等)

(1) 博物館まつり

11/3(祝)に第30回を予定していましたが、中止としました。

(2) 講演会・講座

① 江南区郷土資料館ボランティアガイド向け研修(他館等の事業への協力)

明治維新の際に北区内で結成された北辰隊の関係資料や岡方組正気隊隊員曾我簡堂について等の研修。

・主催 新潟市江南区郷土資料館

・期日 10/30(金)

・参加者数 15人(予定)

② 講座「遠藤七郎左衛門と遠藤七郎(仮題)」(他館等の事業への協力)

葛塚市を開くことに尽力した七郎左衛門と勤王の志士七郎の紹介する講演と展示解説

・主催 郷土・新潟を元気にする会

・期日 11/5(木)

・参加者数 30人(予定)

③ 講演会「『越後輿地全図』で見る福島潟の開発」

文化～文政期に作成された「越後輿地全図」とそこに描かれた福島潟開発の経過等についての紹介する講演会。

- ・期 日 11/7(土)
- ・講 師 亀井功氏(巻郷土資料館友の会会員)
- ・定 員 30人

④ 講座「世界の美術館—コレクションのお話—」(他館等の事業への協力)

- ・主 催 とよさか中高年教養大学
- ・期 日 R3.2/13(土)
- ・講 師 神田直子(講師派遣)
- ・参加者数 40人(予定)
- ・会 場 新潟市葛塚コミュニティセンター

(3) ふるさと学習

学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る。

① 木崎小学校3年生の見学

社会科「昔の道具とくらし」に合わせて来館し、常設展示及び昭和のくらし展を見学。市民ガイドと協力し、説明等対応予定。

- ・期 日 R3.1/27(水)・28(木)・29(金)
- ・人 数 児童79人と引率者

(4) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(5) 刊行物販売

3 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)の活動と研修

市民ガイド研修(スキルアップ研修、情報共有・情報交換)の実施、来館者対応についての調整の事務等。

(1) 市民ガイドの活動

これまでに見学の予約があったもののみ記載。市民ガイドの人数等は調整中。

- ・一般団体見学対応 12/1(火) 北谷内自治会(中央区) 32人(予定)
- ・学校見学対応(再掲) R3.1月 木崎小学校3年生79人と引率者

(2) 市民ガイド研修

① 当館企画展関連研修とコロナ禍におけるガイド方法について

- ・期 日 11/14(土)

②ガイド実践研修（小学校の見学に対応するための「予習・実践・振り返り」）

- ・期 日 R 3. 1月中旬予定

4 博物館実習、体験学習等の受け入れ

後期に予定なし

5 郷土資料収蔵庫・横井の丘ふるさと資料館の管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止
- ・空調管理（郷土資料収蔵庫のみ）

6 所蔵資料（指定文化財含む）の保管・整理

- ・くん蒸処理（各分野の所蔵資料・新収蔵資料等） R 3. 1月予定
- ・歴史資料の整理作業（目録化等）
- ・民俗資料の整理作業（台帳化、郷土資料収蔵庫配架等）
- ・美術作品の整理作業（台帳整理等）
- ・外部依頼の整理作業（歴史資料目録のデータ入力等）

7 北区の文化財（指定文化財ほか）の調査整理・公開活用・保護

(1) 調査整理

- ・木崎小作争議関係資料の修復にかかる調査（再掲）

(2) 公開活用

- ・文化財等説明板の修繕、QRコードの追加

※例年実施する「郷土芸能発表会（博物館まつり）」での市指定無形民俗文化財（神楽等）の公開は中止した。

(3) 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲） R 3. 1月予定
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」に関する対応

8 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議 100 周年事業」

（令和2～4年度の3ヵ年事業の初年度）

令和4（2022）年度の100周年に開催予定の企画展等に向けて、資料所在確認調査や展示予定の指定文化財の歴史資料「看板（無産農民学校西入口）」の修復のための準備を進める。